



## 徳大整形・同門力

徳島大学運動機能外科学 教授 西 良 浩 一

就任3年が過ぎ、教室は同門会の諸先輩方の協力のもと益々発展していること日々実感しております。まずは、皆様方に日頃の援助に対し厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は同門会として、とてもとても大きい出来事がありました。徳島県医師会長に、前同門会副会長・齋藤義郎先生が就任されました。明治41年に発足した歴史ある医師会です。齋藤先生は第18代の会長に就任されました。整形外科医としては初の快挙です。これまでの先生の医師会へのご尽力が高く評価されたものと思います。また、徳島県鳴門病院の病院長に、同門会長の邊見達彦先生が就任されました。邊見先生の副院長時代の病院ヘリリーダーシップ、また、整形外科のトップとしての病院への貢献などが大きく評価されました。徳島県医師会長および公的関連病院の院長職を整形外科医が担当することは、大変名誉なこととであり、教室・同門の誇りであり、お喜び申し上げます。もちろん、先生方ご自身のご尽力の賜物ではありますが、やはり徳大同門会の諸先輩方のバックアップ、チームワークも大きい要素と思います。

教室を見ても、同門力&チームワークを感じます。本年入局の3名はいずれも同門の先生方のご尽力のおかげでの入局です。我々の力不足を同門力で補っていただきました。笠井君は県立中央病院、山崎君は高知日赤、横山君はJCHO新宿医療センターで初期研修を行いました。それぞれ担当であった、江川先生、十河先生、柏口先生をはじめ同門会の先生方のご推挙、ご指導によるものです。同門力に感謝します。また、来年にはすでに6名の若者が入局決意してくれています（12月の時点）。徳島大学病院、徳島日赤、県立中央病院、高知医療セ

ンターで初期研修の若者です。同門の諸先生方の熱心なご指導のおかげで入局を決意したようです。

さて、2017年には脊椎関節機能再建外科学講座にも待望の専任特任教授が就任します。2014年に誕生した新講座です。現在、准教授2名、講師1名、助教1名で構成されております。新講座誕生後、脊椎・人工関節の手術件数が200件から400件へ倍増しました。またそれに伴い、学会発表、英文論文も増えております。現在、私が教授併任しておりますが、来年より専任教授の下での活躍が期待されます。

徳島大学整形外科教室は、運動機能外科学講座&脊椎関節機能再建外科学講座、そしてクリニカルアナトミーセンターを中心に、2017年も発展いたします。ご期待下さい。